



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月9日

上場取引所 名

上場会社名 中部水産株式会社

コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉川 輝喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 鈴木 祥司

TEL 052-683-3110

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,345	△1.1	15	180.3	67	22.2	46	—
25年3月期第1四半期	9,448	△7.3	5	△82.3	54	△33.6	△123	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	2.54	—
25年3月期第1四半期	△6.62	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第1四半期	14,756		12,146		82.3
25年3月期	14,716		12,197		82.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,146百万円 25年3月期 12,197百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,200	1.1	35	22.0	110	11.7	60	—	3.26
通期	40,000	0.9	120	11.2	260	8.8	140	788.8	7.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	19,969,000 株	25年3月期	19,969,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,733,573 株	25年3月期	1,544,879 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	18,390,758 株	25年3月期1Q	18,599,157 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、デフレ脱却に向けた金融緩和策や経済政策によって株高や円安が進み、企業の景況感が高まりつつありますが、個人消費や設備投資が低調に推移するなど実体経済に波及するまでに至らず、景気の見通しは不透明な状況にあります。

当業界におきましては、景気の回復が期待されるものの、依然継続する消費者の低価格・節約志向から、水産物需要が低迷し、市場内外での販売競争がさらに激化するなど、引き続き厳しい経済環境となりました。

この結果、売上高は、卸売部門が鮮魚の魚価安及び冷凍魚の取扱数量の減少などで減収となり、飼料工場が需要の減退で売上減となるなど、9,345百万円(前年同四半期比1.1%減)となりました。利益面については、売上総利益率の改善及び販売費及び一般管理費の削減により、46百万円の四半期純利益(前年同四半期は四半期純損失123百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、カツオ、ヤリイカが好漁で入荷増となり、冷凍マグロが取扱数量の増加により売上増となりましたが、生鮮キハダ、ウナギ、マサバ、アサリなどの入荷減、天然ブリ、養殖ヒラメなどの単価安により減収となりました。

冷凍魚は、冷エビが先高感から荷動きがよく、売上増となりましたが、冷サケなどの輸入凍魚が全般的に漁獲不振に加え、円安の影響から搬入減となり、減収となりました。

塩干魚は、鮭鱒、凍魚の加工屋向け原料販売が増加しましたが、干物類の原料事情悪化による取扱減、チリメンの不漁、イクラ、煉製品の売れ行き不振などにより減収となりました。

この結果、売上高は8,931百万円(前年同四半期比0.8%減)、営業利益73百万円(同16.6%増)となりました。

(飼料工場部門)

養鰻用飼料が、シラスの不漁で池入量が減少したため売上減となり、水産向魚粉が需要の減退により振るわず、減収となりました。

この結果、売上高は182百万円(前年同四半期比17.3%減)、営業利益は17百万円(同16.5%減)となりました。

(食品加工場部門)

いか珍味製品のポット商品が、前期特需の反動から売上減となりましたが、新規取扱のこがね漬及び切イカなど佃煮原料の需要増により、増収となりました。

この結果、売上高は96百万円(前年同四半期比13.6%増)、営業損失は4百万円(前年同四半期は営業損失9百万円)となりました。

(冷蔵工場部門)

青果野菜、鮮魚、納豆など堅調な在庫となりましたが、大手寄託者の外国貨物の減少、液卵の搬入減が響き、減収となりました。

この結果、売上高は106百万円(前年同四半期比4.3%減)、営業利益は8百万円(同31.6%減)となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は28百万円(前年同四半期比4.1%減)、営業利益は15百万円(同5.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、14,756百万円となり、前事業年度末に比べ39百万円(0.3%)増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少82百万円などがありましたが、商品及び製品の増加118百万円などによるものであります。

負債は、2,610百万円となり、前事業年度末に比べ90百万円(3.6%)増加しました。これは主に、賞与引当金の減少36百万円などがありましたが、未払法人税等の増加36百万円、支払手形及び買掛金の増加33百万円などによるものであります。

純資産は、12,146百万円となり、前事業年度末に比べ51百万円(0.4%)減少しました。これは、その他有価証券評価差額金の増加31百万円がありましたが、自己株式の取得による減少56百万円、利益剰余金の減少26百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成25年5月13日発表の業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,834,777	3,811,318
受取手形及び売掛金	1,987,685	1,905,143
有価証券	3,349,800	3,350,000
商品及び製品	791,415	909,748
仕掛品	34,438	44,906
原材料及び貯蔵品	285,387	295,026
その他	65,391	67,718
貸倒引当金	△18,000	△15,685
流動資産合計	10,330,895	10,368,177
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,171,321	1,149,221
その他(純額)	759,458	754,394
有形固定資産合計	1,930,780	1,903,616
無形固定資産		
	53,792	45,169
投資その他の資産		
投資有価証券	1,716,865	1,748,901
その他	720,546	733,927
貸倒引当金	△36,412	△43,764
投資その他の資産合計	2,400,999	2,439,063
固定資産合計	4,385,571	4,387,849
資産合計	14,716,467	14,756,026
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,357,812	1,391,325
受託販売未払金	177,894	175,631
未払法人税等	4,428	40,933
賞与引当金	52,730	16,600
役員賞与引当金	7,700	—
その他	217,712	284,613
流動負債合計	1,818,277	1,909,104
固定負債		
退職給付引当金	562,029	565,630
その他	138,728	135,273
固定負債合計	700,757	700,903
負債合計	2,519,034	2,610,008

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,432,952	10,406,029
自己株式	△716,963	△773,388
株主資本合計	12,211,760	12,128,412
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,328	17,605
評価・換算差額等合計	△14,328	17,605
純資産合計	12,197,432	12,146,018
負債純資産合計	14,716,467	14,756,026

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	9,448,671	9,345,020
売上原価	8,976,422	8,876,346
売上総利益	472,249	468,674
販売費及び一般管理費	466,731	453,208
営業利益	5,517	15,465
営業外収益		
受取利息	3,507	3,063
受取配当金	32,506	23,553
受取補償金	—	11,712
その他	13,647	13,364
営業外収益合計	49,661	51,693
営業外費用		
雑損失	311	137
営業外費用合計	311	137
経常利益	54,867	67,021
特別損失		
投資有価証券評価損	261,001	—
特別損失合計	261,001	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△206,134	67,021
法人税、住民税及び事業税	1,022	41,103
法人税等調整額	△83,956	△20,856
法人税等合計	△82,934	20,247
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△123,199	46,773

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	9,002,664	220,996	84,933	110,878	29,198	9,448,671	—	9,448,671
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,668	—	1,131	25,152	—	33,952	△33,952	—
計	9,010,332	220,996	86,065	136,031	29,198	9,482,623	△33,952	9,448,671
セグメント利益 又は損失(△)	63,402	21,385	△9,716	12,422	16,026	103,520	△98,002	5,517

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△98,002千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	8,931,722	182,732	96,504	106,057	28,002	9,345,020	—	9,345,020
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,592	—	1,732	25,763	—	32,087	△32,087	—
計	8,936,314	182,732	98,236	131,820	28,002	9,377,108	△32,087	9,345,020
セグメント利益 又は損失(△)	73,931	17,863	△4,993	8,500	15,101	110,404	△94,939	15,465

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△94,939千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。